石巻専修大学

「石巻専修大学」ホームページ　https://www.senshu-u.ac.jp/ishinomaki/

石巻専修大学
広報係
〒986-8580
宮城県石巻市
南境新水戸1番地
☎0225-22-7717（直）

本年4月、創立30年を迎えました

石巻地域産業学習「マップ」「ハンドブック」

事業所紹介

経営・舛井ゼミ　李ゼミ

工場や施設の見学・体験を行う産業学習に役立ててもらおうと、経営学部の舛井道晴ゼミと李東勲ゼミが、「石巻地域産業学習マップ」と「石巻地域産業学習ハンドブック」の作製に取り組んだ。宮城県東部地方振興事務所と共同で、石巻地域（石巻市、東松島市、女川町）の産業を地域外に発信し、教育旅行の誘致促進を図る。

マップとハンドブックはリンクしており、産業学習を受け入れている67カ所の事業所や施設を紹介。マップは所在地に加え、3市町の観光地やグルメなどの情報も掲載している。ハンドブック（A5判40㌻）は、工場見学や業務体験といった産業学習の内容や受け入れに関する情報を分かりやすくまとめている。マップは4500部、ハンドブックは2000部印刷し、宮城県内の小・中・高校、駅や「道の駅」で4月から配布。宮城県公式ウェブサイトで公開されており、ダウンロードできる。

学生たちは半年かけて各企業を訪問。合同ミーティングで情報共有や意見交換を行いながら、企業を取材した。舛井ゼミの鈴木朋也さん（経営4・宮城県仙台工業高）は「作製にあたっては見る側の視点を意識し、分かりやすさを大切にした。良い経験になった。今後もこのような活動に協力したい」。李ゼミの堺康平さん（経営3・宮城県気仙沼向洋高）は「石巻市の産業を深く知ることができた。また、企業の方と話すことで、自分の将来を考えるきっかけにもなった。このマップとハンドブックを見て、多くの方に掲載地を訪れてほしい」と語った。

指導にあたった舛井准教授は「石巻の産業や企業を知っただけでなく、現在学んでいることを、どう社会に還元していくかを考えることができた」と学生の成果を話した。

企業を訪問し、取材する舛井ゼミ生

ベトナムから留学生4人

「キャンパスライフ楽しい」

経営学部に今年度、4人のベトナム人学生が入学した。仙台市の同じ日本語学校で学び、本学の外国人留学生入学試験に合格した男女各2人。「日本人の友達がたくさんできて授業が楽しい」と明るい表情でキャンパス生活を送っている。

授業に対する姿勢はみな真剣。特に「日本語技法A」は好評で、「みんなでコミュニケーションを取りながら、分からないところはその場で先生が教えてくれる。ありがたいです」とチャン・ティ・ニュンさん。「経営と社会のあり方を学びたい」と話すグェン・ティ・ヒュエン・チャンさんは「興味がある分野の授業だと課題をやるのも楽しい」と目を輝かせる。

ファム・タット・オアンさん、グェン・アン・ダットさんの男性2人は飲食店経営が夢といい、「経営に必要な知識を身につけたい」と意気込む。

ベトナム人の学生は昨年理工学部に入学したグェン・ミン・ホンさん（機械工学科2年次）と合わせ5人となる。4人の日本語学校での先輩にあたるグェンさんは、7年前に技能実習生として来日した経験もあり、2015年から日本の大学への進学を目指して日本語を勉強。機械や自動車に興味があったため、自分に合う学科がある大学を選んだ。

「ロボットの実験授業が面白くて、関心がロボットに移ってきました」と笑う先輩グェンさんは、授業をより理解したいと在学中の日本語能力試験N1（最難関）合格を目指す。「授業では分からないこともないこともも多くて大変だと思うけれど、先生方がいつでも優しく指導してくれる。心配しないで頑張って」と後輩にエールを送る。

日本語技法の講義を受ける4人

かすみがうらマラソン
原田さん　3位

約1万6000人が参加した「かすみがうらマラソン兼国際盲人マラソン2018」（4月15日、茨城県土浦市、かすみがうら市）に女子競走部の4人が出場。13㌔を9人が完走したフルマラソン女子で原田詠麻さん（経営4・静岡県静岡北高）が2時間56分06秒で3位に入賞した。

原田さんは「起伏のある前半はリラックスして走り、徐々にペースを上げていくレースプランを考えていたが、後半にペースが上がらず、課題が残るレースとなった。フルマラソンの距離にまだ対応しきれていないことが今回の反省点。今後のレースで自己ベストが更新できるように練習に励みたい」と話した。

10マイル女子では庄司琴美さん（経営3・宮城県聖和学園高）が4位、深田蘭菜（らな）さん（経営2・神奈川県相洋高）が5位、川崎美祈さん（人間4・山形県山形城北高）が7位となった。

入賞した4人。左から深田さん、原田さん、庄司さん、川崎さん

佐々木さん　3位
東北学生弓道

第57回東北地区学生弓道大会（4月14日、仙台市・宮城県第二総合運動場弓道場）の個人戦で弓道部の佐々木颯主将（はやて）（経営3・宮城県岩出山高）が3位となった。

5人立ちで行われた男子団体は予選を通過できなかったが、的中数で上位に入った佐々木さん、遠山拓也さん（理工2・宮城県石巻好文館高）、小松幸冬（ゆきと）さん（理工1・秋田県角館高）の3人が個人決勝に進んだ。

決勝は射詰め（的を外した者から抜けていく競技方式）で行われ、佐々木さんは優勝には一歩及ばなかったが、3位決定の遠近競射（的の中心に近いものが上位となる競技方式）で競り勝った。

佐々木さんは「今回は個人戦で結果を残すことができたが、団体戦での優勝を目指し、チーム全員で稽古（けいこ）に励みたい」と話した。

研究室探訪 -①-

学生の「なぜ」に答えていく

理工学部生物科学科
奈良英利 准教授

学生を指導する奈良准教授

「免疫系細胞に対するサイトカインの影響」が私の研究テーマ。これまでに「サイトカイン」の一種である「インターロイキン21」という物質がアレルギー反応を抑制することを発見し、現在はこの分子機構について調べている。

授業では2年次の「動物解剖学」、3年次の「細胞組織学」、卒業論文の指導や実習を担当する。

「細胞組織学」の第1回講義では花粉症に悩み、「なぜこんなに鼻水が出るのだろう」と疑問を持った学生がいるのではないかと、花粉症発症のメカニズムを細胞組織学の視点で説明した。講義の主役は学生であり、今後も学生の「なぜ」に答える講義をしていきたい。

学生には在学中に論理的に物事を考える力を身につけてほしい。なかでも卒業論文に向けた研究は4年間の集大成。目標を立てて実験を行い、結果をどう解釈するか。それが論理的思考につながり、社会に出てからも必要となる。

科学の分野はいまだに分からないことだらけ。講義で分からなかったことは質問してほしい。理解できなかったのか、それとも解明されていないのかが分かる。

車両62台を整備

自動車工学コース32人

理工学部機械工学科自動車工学コースの2～4年次生32人と大学院生が一般社団法人日本カーシェアリング協会主催「春の学生整備プロジェクト」（4月11～13日、石巻専修大学自動車工学センター）に参加。同協会が東日本大震災の被災者や支援団体などに貸与している車両62台のタイヤ、オイル交換、点検作業などを行った。

中村真生（まいき）さん（3年次・岩手県北上翔南高）は「授業で学んだことを実践する良い機会で、知識が深まった」と話した。

田口翔太さん（4年次・宮城県古川工業高）は「利用者に安心して乗ってもらえるよう、慎重な作業を心がけた。プロジェクトでさまざまな車両を扱い、対応力が身についた」と話した。

タイヤ交換や点検に取り組む学生

育友会支部懇談会

ご父母・保護者の会である育友会では、学生生活の様子や学業・進路についての質問に答える支部懇談会を開催する。今年度の開催日程・会場は別表の通り。

問事務課育友会係☎0225・22・7714

開催地	開催日	会場
石巻	5月27日（日） 10月13日（土）	石巻専修大学 ＊5月は定期総会と同時開催
秋田	6月3日（日）	秋田ビューホテル
東京	6月3日（日）	専修大学神田キャンパス
青森	6月17日（日）	ホテルＪＡＬシティ青森
山形	6月17日（日）	山形国際ホテル
岩手	6月17日（日）	ホテルルイズ盛岡
宮城	7月1日（日）	ＴＫＰガーデンシティ仙台
福島	7月1日（日）	ＴＫＰ郡山 カンファレンスセンター
九州（熊本）	7月15日（日）	専修大学玉名高校